

# 令和2年度 年間授業計画&シラバス

東京都立足立高等学校定時制課程

対象学年	教科・科目名	担当者名
1 学年 (普通科・商業科)	外国語科 コミュニケーション 英語 I	渡邊・井出野
使用教科書	出版社：三省堂 教科書名：Vista English Communication I	
指導のねらい 単位数 2 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の基礎的な知識を身につける。</li> <li>生徒個人々の習熟レベルに応じた指導により、知識を少しでも多く定着させ、基礎的な英語の学力を高めるよう留意する。</li> <li>英語によるコミュニケーション能力を高める。</li> </ul>	
使用教材・授業形態	教科書、ノート、プリント等・習熟度別2クラス展開授業	
学期・授業時数	単元名	
1 学期 2 4 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>主語と動詞/英語の語順の復習</li> <li>be 動詞と一般動詞の現在の活用の復習</li> <li>基本的な文型（第2文型・第3文型）の復習</li> <li>疑問文・否定文の作り方の復習</li> </ul>	
2 学期 2 6 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>be 動詞と一般動詞の過去の活用の復習</li> <li>単語と慣用句</li> <li>品詞の基礎の復習</li> <li>未来形の復習</li> <li>助動詞の用法の復習</li> </ul>	
3 学期 2 0 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wh 疑問文の作り方の復習</li> <li>不定詞や分詞のかたちとはたらきの復習</li> <li>単語と慣用句</li> </ul>	
学習内容	<p>○年間を通じ下記の学習をおこない、生徒の学習を支援する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>基本的な英文を理解したり表現したりする練習をおこなう。</li> <li>日本語との違いに気をつけながら英語の特徴を学ぶ。</li> <li>習熟度別授業の特徴を生かし、個々の生徒のレベルに応じてできるだけきめ細かな対応をしながら、一人ひとりの英語の知識・運用力の定着をはかる。</li> </ol>	
評価の観点と方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>教科書やプリントなどの文を理解したり表現できるようになったか。</li> <li>日本語とは異なる英語の特徴を理解したか。</li> <li>定期考査の得点。</li> <li>出席点・欠席・遅刻・早退等を含めた授業にのぞむ姿勢。</li> </ol> <p>※以上4つの観点の各得点の合計をもとに総合的に評価する。</p>	

# 令和2年度 年間授業計画&シラバス

東京都立足立高等学校定時制課程

対象学年	教科・科目名	担当者名
2 学年 (普通科)	外国語科 コミュニケーション 英語 I	井出野・柏瀬
使用教科書	出版社：三省堂 教科書名：Vista English Communication I	
指導のねらい 単位数 2 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の基礎的な知識を身につける。</li> <li>・習熟度別学習を生かし、生徒個人個人の習熟レベルに応じた指導により、知識を少しでも多く定着させ、基礎的な英語の学力を高めるよう留意する。</li> </ul>	
使用教材・授業形態	教科書・ノート・プリント等を使用し、習熟度別2クラス展開授業	
学期・授業時数	単元名	
1 学期 2 4 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 6 Toothbrushing in Edo (動名詞)</li> <li>・ Lesson 7 Machu Picchu (現在完了形)</li> <li>・ ALT とのティームティーチングによる授業 (自校教材)</li> </ul>	
2 学期 2 6 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 8 Motala and Landmines (受動態)</li> <li>・ Lesson 9 Dick Bruna (関係代名詞)</li> <li>・ ALT とのティームティーチングによる授業 (自校教材)</li> </ul>	
3 学期 2 0 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 10 Tsujii, the Great Pianist (関係副詞)</li> <li>・ ALT とのティームティーチングによる授業 (自校教材)</li> </ul>	
学習内容	<p>○年間を通じ下記の学習をおこない、生徒の学習を支援する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な英文を理解したり表現したりする練習をおこなう。</li> <li>2. 日本語との違いに気をつけながら英語の特徴を学ぶ。</li> <li>3. 習熟度別授業の特徴を生かし、個々の生徒のレベルに応じてできるだけきめ細かく対応し、一人ひとりの英語の知識・運用力の定着をはかる。</li> </ol> <p>※生徒の学習進度状況等に応じて年間計画に縛られない他の単元・分野も学習する。</p>	
評価の観点と方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教科書やプリントなどの文を理解したり表現できたりするようになったか。</li> <li>2. 日本語とは異なる英語の特徴を理解したか。</li> <li>3. 定期考査の得点。</li> <li>4. 出席点：欠席・遅刻・早退等を含めた授業にのぞむ姿勢。</li> </ol> <p>※以上4つの観点の各得点の合計をもとに総合的に評価する。</p>	

# 令和2年度 年間授業計画&シラバス

東京都立足立高等学校定時制課程

対象学年	教科・科目名	担当者名
2 学年 (商業科)	外国語科 コミュニケーション 英語 I	井出野・柏瀬
使用教科書	出版社：三省堂 教科書名：Vista English Communication I	
指導のねらい 単位数 1 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の基礎的な知識を身につける。</li> <li>・習熟度別学習を生かし、生徒個人個人の習熟レベルに応じた指導により、知識を少しでも多く定着させ、基礎的な英語の学力を高めるよう留意する。</li> </ul>	
使用教材・授業形態	教科書・ノート・プリント等を使用し、習熟度別2クラス展開授業	
学期・授業時数	単元名	
1 学期 1 2 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 6 Toothbrushing in Edo (動名詞)</li> <li>・ ALT とのチームティーチングによる授業 (自校教材)</li> </ul>	
2 学期 1 3 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 8 Motala and Landmines (受動態)</li> <li>・ ALT とのチームティーチングによる授業 (自校教材)</li> </ul>	
3 学期 1 0 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 10 Tsujii, the Great Pianist (関係副詞)</li> <li>・ ALT とのチームティーチングによる授業 (自校教材)</li> </ul>	
学習内容	<p>○年間を通じ下記の学習をおこない、生徒の学習を支援する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な英文を理解したり表現したりする練習をおこなう。</li> <li>2. 日本語との違いに気をつけながら英語の特徴を学ぶ。</li> <li>3. 習熟度別授業の特徴を生かし、個々の生徒のレベルに応じてできるだけきめ細かく対応し、一人ひとりの英語の知識・運用力の定着をはかる。</li> </ol> <p>※生徒の学習進度状況等に応じて年間計画に縛られない他の単元・分野も学習する。</p>	
評価の観点と方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教科書やプリントなどの文を理解したり表現できたりようになったか。</li> <li>2. 日本語とは異なる英語の特徴を理解したか。</li> <li>3. 定期考査の得点。</li> <li>4. 出席点：欠席・遅刻・早退等を含めた授業にのぞむ姿勢。</li> </ol> <p>※以上4つの観点の各得点の合計をもとに総合的に評価する。</p>	

# 令和2年度 年間授業計画&シラバス

東京都立足立高等学校定時制課程

対象学年	教科・科目名	担当者名
3 学年 (普通科・商業科)	外国語科 コミュニケーション 英語 II	奥澤・渡邊
使用教科書	出版社：三省堂 教科書名：Vista English Communication II	
指導のねらい 単位数 2 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の基礎的な知識を身につける。</li> <li>・習熟度別学習を生かし、生徒個々人の習熟レベルに応じた指導により、知識を少しでも多く定着させ、基礎的な英語の学力を高めるよう留意する。</li> </ul>	
使用教材・授業形態	教科書・ノート・プリント等を使用し、習熟度別2クラス展開授業	
学期・授業時数	単元名	
1 学期 2 4 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 1 Birthdays Here and There (疑問詞や if で始まる節)</li> <li>・ Lesson 2 The Emerald Isle (比較)</li> <li>・ ALT とのチームティーチングによる授業 (自校教材)</li> </ul>	
2 学期 2 6 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 3 The Sagrada Familia (名詞を修飾する分詞)</li> <li>・ Lesson 4 Nobel Prize Episodes (知覚動詞 tell ~ to do )</li> <li>・ ALT とのチームティーチングによる授業 (自校教材)</li> </ul>	
3 学期 2 0 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 5 Flowers in the Tomb (使役動詞・関係代名詞 what)</li> <li>・ ALT とのチームティーチングによる授業 (自校教材)</li> </ul>	
学習内容	<p>○年間を通じ下記の学習をおこない、生徒の学習を支援する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な英文を理解したり表現したりする練習をおこなう。</li> <li>2. 日本語との違いに気をつけながら英語の特徴を学ぶ。</li> <li>3. 習熟度別授業の特徴を生かし、個々の生徒のレベルに応じてできるだけきめ細かく対応し、一人ひとりの英語の知識・運用力の定着をはかる。</li> </ol> <p>※生徒の学習進度状況等に応じて年間計画に縛られない他の単元・分野も学習する。</p>	
評価の観点と方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教科書やプリントなどの文を理解したり表現できるようになったか。</li> <li>2. 日本語とは異なる英語の特徴を理解したか。</li> <li>3. 定期考査の得点。</li> <li>4. 出席点：欠席・遅刻・早退等を含めた授業にのぞむ姿勢。</li> </ol> <p>※以上4つの観点の各得点の合計をもとに総合的に評価する。</p>	

# 令和2年度 年間授業計画&シラバス

東京都立足立高等学校定時制課程

対象学年	教科・科目名	担当者名
3 学年 (普通科)	外国語科 コミュニケーション 英語Ⅱ (選択)	奥澤
使用教科書	出版：三省堂 教科書名：Vista English Communication II	
指導のねらい 単位数 2 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の基礎的な知識を身につける。</li> <li>・生徒個人個人の習熟レベルに応じた指導により、知識を少しでも多く定着させ、基礎的な英語の学力を高めるよう留意する。</li> <li>・個々の能力に応じた英語の活用ができるようにする。</li> </ul>	
使用教材・授業形態	教科書・プリント	
学期・授業時数	単元名	
1 学期 2 4 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法事項復習</li> <li>・プリント教材</li> <li>・英語検定問題演習</li> </ul>	
2 学期 2 6 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法事項復習</li> <li>・プリント教材</li> <li>・英語検定問題演習</li> </ul>	
3 学期 2 0 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法事項復習</li> <li>・プリント教材</li> <li>・英語検定問題演習</li> </ul>	
学習内容	<p>○年間を通じ下記の学習をおこない、生徒の学習を支援する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な英文を理解したり表現したりする練習をおこなう。</li> <li>2. 日本語との違いに気をつけながら英語の特徴を学ぶ。</li> <li>3. 英語の生の声を video 教材を通して、英語に触れる機会を増やし、視覚的理解を助力として使いながら、英語の知識・運用力の定着をはかる。</li> </ol> <p>※生徒の学習進度状況等に応じて年間計画に縛られない他の単元・分野も学習する。</p>	
評価の観点と方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教科書やプリントなどの英語のフレーズや文を理解したか。</li> <li>2. 日本語とは異なる英語の特徴を理解したか。</li> <li>3. 出席点：欠席・遅刻・早退等を含めた授業にのぞむ姿勢はどうか。</li> <li>4. 積極的に英語をコミュニケーション手段として使用しようとしているか。</li> </ol> <p>※以上4つの観点の各得点の合計をもとに総合的に評価する。</p>	

# 令和2年度 年間授業計画&シラバス

東京都立足立高等学校定時制課程

対象学年	教科・科目名	担当者名
4 学年 (普通科・商業科)	外国語科 コミュニケーション 英語 II	柏瀬・奥澤
使用教科書	出版社：三省堂 教科書名：Vista English Communication II	
指導のねらい 単位数 2 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 200 語程度のまとまった英文を読める。</li> <li>・ 学んだ言語表現をもとに簡単な英文を書ける。</li> <li>・ ALT との言語活動で簡単な英語表現を聞いたり話したりできる。</li> <li>・ 教科書でとりあげられた文法および語句を理解し活用できる。</li> </ul>	
使用教材・授業形態	教科書・プリント・ノート 普通科において習熟度別授業	
学期・授業時数	単元名	
1 学期 2 4 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 6 Becoming the Best ・ Lesson 7 The Galapagos Islands</li> <li>・ ALT との言語活動</li> <li>・ 文法事項の復習</li> </ul>	
2 学期 2 6 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 8 Shodo, Old and New ・ Lesson 9 Water World</li> <li>・ ALT との言語活動</li> <li>・ 文法事項の復習</li> </ul>	
3 学期 6 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 10 A Long Friendship</li> <li>・ ALT との言語活動</li> <li>・ 年度末のまとめ</li> </ul>	
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 6 〈疑問詞+to 不定詞・ It seems that …〉</li> <li>・ Lesson 7 〈現在完了進行形・ find 「～が分かる」の語法〉</li> <li>・ Lesson 8 〈部分否定・ can be done …〉</li> <li>・ Lesson 9 〈関係代名詞の非制限用法・ have been done〉</li> <li>・ Lesson 10 〈過去完了形・ 強調構文〉</li> </ul>	
評価の観点と方法	<p>関心・意欲・態度：学習活動・言語活動への取り組みを評価する。</p> <p>理解の能力：理解確認問題や言語活動における成否を評価する。</p> <p>表現の能力：短文の作文問題や言語活動における成否を評価する。</p> <p>知識・理解：文法・語彙の知識の定着度を評価する。</p> <p>定期考査を実施し、授業内評価・授業態度・提出物等と総合して5段階の評定を行う。</p>	

# 令和2年度 年間授業計画&シラバス

東京都立足立高等学校定時制課程

対象学年	教科・科目名	担当者名
4 学年 (普通科・商業科)	コミュニケーション 英語応用 (選択)	渡邊
使用教科書	出版社：三省堂 教科書名：Vista English Communication I	
指導のねらい 単位数 2 単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の基礎的な知識を身につける。</li> <li>・3年までの学年でカバー出来なかった単元を補い、理解を深める</li> <li>・進学希望者には個別に対応し、計画的に準備させる</li> </ul>	
使用教材・授業形態	教科書・プリント・ノート	
学期・授業時数	単元名	
1 学期 2 4 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書のそれぞれの課を読んで、そこから会話活動などが出来るようにする。</li> <li>・Lesson 11 Idea from Nature( 分詞構文) についての理解を深め教科書の内容に触れ、自然への興味関心を引き出す</li> </ul>	
2 学期 2 6 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Lesson 9 Dick Bruna (関係代名詞)</li> <li>・Lesson 10 Tsujii, the Great Pianist (関係副詞) 関係詞の理解を深める</li> <li>・受験に対応できるように自作プリントを作成しコミュニケーション能力を伸ばす。</li> </ul>	
3 学期 6 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年間の学習内容を含む総合的な読み物を通して、英語で表現された、異なる世界観に触れる。</li> <li>・年度末のまとめ</li> </ul>	
学習内容	<p>○年間を通じ下記の学習をおこない、生徒の学習を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人が最も苦手とする分詞構文と関係詞についての理解を深める。</li> <li>・英語をコミュニケーションの手段として、異なる世界観に触れる。</li> </ul>	
評価の観点と方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.課題に取り組んだか</li> <li>2.英文を理解したり表現したりできるようになったか。</li> <li>3.出席点：欠席・遅刻・早退等を含めた授業にのぞむ姿勢。</li> <li>4. 定期考査の成績</li> </ol> <p>※以上4つの観点の各得点の合計をもとに総合的に評価する。</p>	